

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 29 号	氏名	橋口 英雄
学位審査委員	主査 金武 洋	副査 谷山 紘太郎	副査 田口 尚
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p><b>1 研究目的の評価</b> 腎臓に対する揮発性麻酔薬イソフルランによる薬理的プレコンディショニング作用 (PPC : Pharmacological preconditioning) の存在の確認およびメカニズムを検討しようとした研究目的は明確で評価できる。</p> <p><b>2 研究手段に関する評価</b> ラットを用いる実験系において腎機能障害の指標として両側腎虚血し、再灌流後の血中クレアチニン (Cr) と血中尿素窒素 (BUN) の測定と組織標本の比較検討は的確であった。さらにイソフルラン投与後に再灌流し定期的に腎摘出し組織内のストレス応答性蛋白キナーゼ (JNK・p38・ERK) の比較検討は妥当であった。</p> <p><b>3 結果・考察の評価</b> 再灌流後の Cr と BUN の測定ならびに組織標本の検討から、虚血前にイソフルラン投与により虚血のみの群に比較して腎障害が軽減された。再灌流により JNK と ERK の活性はイソフルラン投与により阻害された。吸入麻酔薬による PPC 作用を蛋白キナーゼの阻害を通して証明した本論文は、腎臓保護作用のメカニズムの解明に大きく寄与するものであり、高く評価できる。審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			